



2025年

呉羽テック

本社工場(栗東)・河瀬工場(彦根)

CSRレポート



Photo: 本社工場

■ 呉羽テック株式会社 会社概要

創業開始 代表者	1960年 4月 10日 取締役社長 前原 豊輝	
	本社工場(栗東市)	河瀬工場(彦根市)
住所	滋賀県栗東市岡255	滋賀県彦根市楡町280
敷地面積	41,000 m ²	19,000 m ²
従業員	206名	27名
主な 自動車機能材 製品 医療・衛生材料 建築用資材 産業用資材他 敷地内の関連企業	自動車エンジン吸気エア用フィルター パップ剤支持用基材 フローリング床防音用資材 耐熱バグフィルター 三次元網状体 栗東テック株式会社	自動車内装資材 クモの巣状ホットメルト接着シート



社長挨拶

代表取締役社長 前原豊輝

今年は梅雨も早く明け、猛暑日が続いております。熱中症対策も今年6月1日から義務化されました。職場での安全、健康第一で取り組んで頂きたい、お願いします。さて当社がニッケグループ入りして1年が経過しました。ニッケでは「商品開発・合理化・省エネ設備への投資」、「顧客を増やすための投資」、「人財育成のための投資」を進めています。当社もニッケグループの一員として、この3つの投資を進めて参ります。開発技術は商品開発を進め、製造は合理化と省エネを図り、営業はより多くの顧客を獲得し、総務は人財獲得と育成を進める事は当社の発展とともに顧客、地域社会、社員への貢献に寄与するものです。グループ間での交流も進めて各分野で相互補完、相乗効果を得るように進めます。またエコフオスターという早朝清掃の活動を栗東本社周りで実施し、地域社会にも認知して頂き、連続操業する際は近隣の方の御理解も得るように取り組んでいます。ここに当社のCSR活動の取り組みを紹介させていただきます。皆さまにはご理解頂きますと共に、今後ともご指導、ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



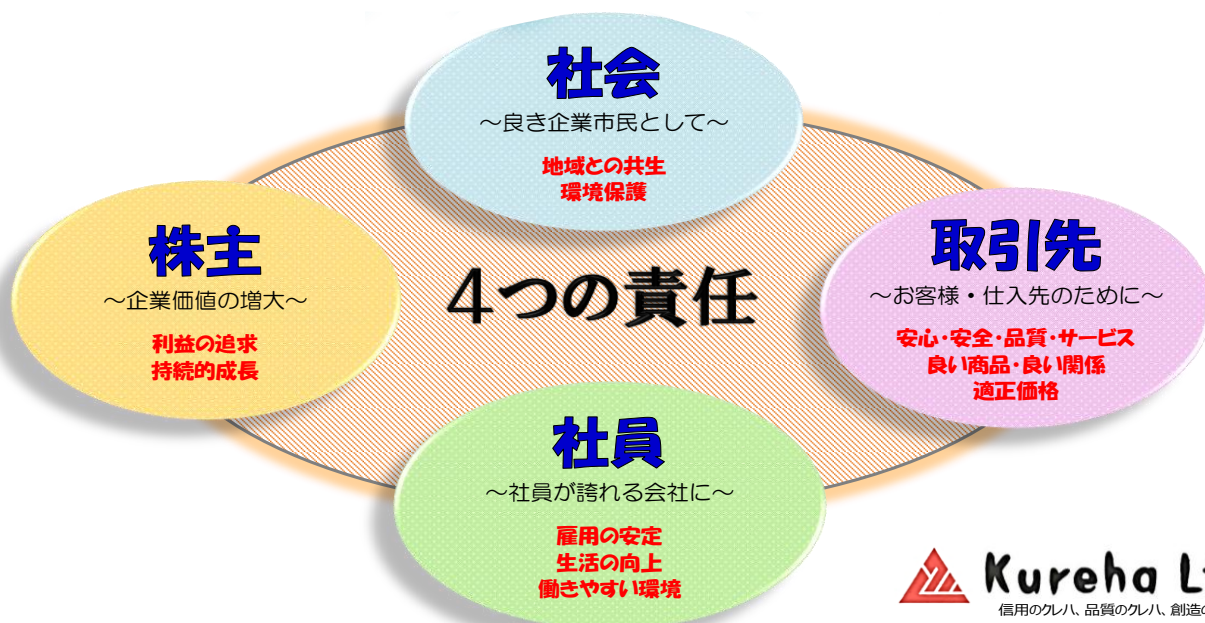
呉羽テック株式会社
代表取締役社長
前原豊輝

呉羽テック株式会社の『経営の基本理念』

呉羽テック株式会社は「4つの責任」を果たし

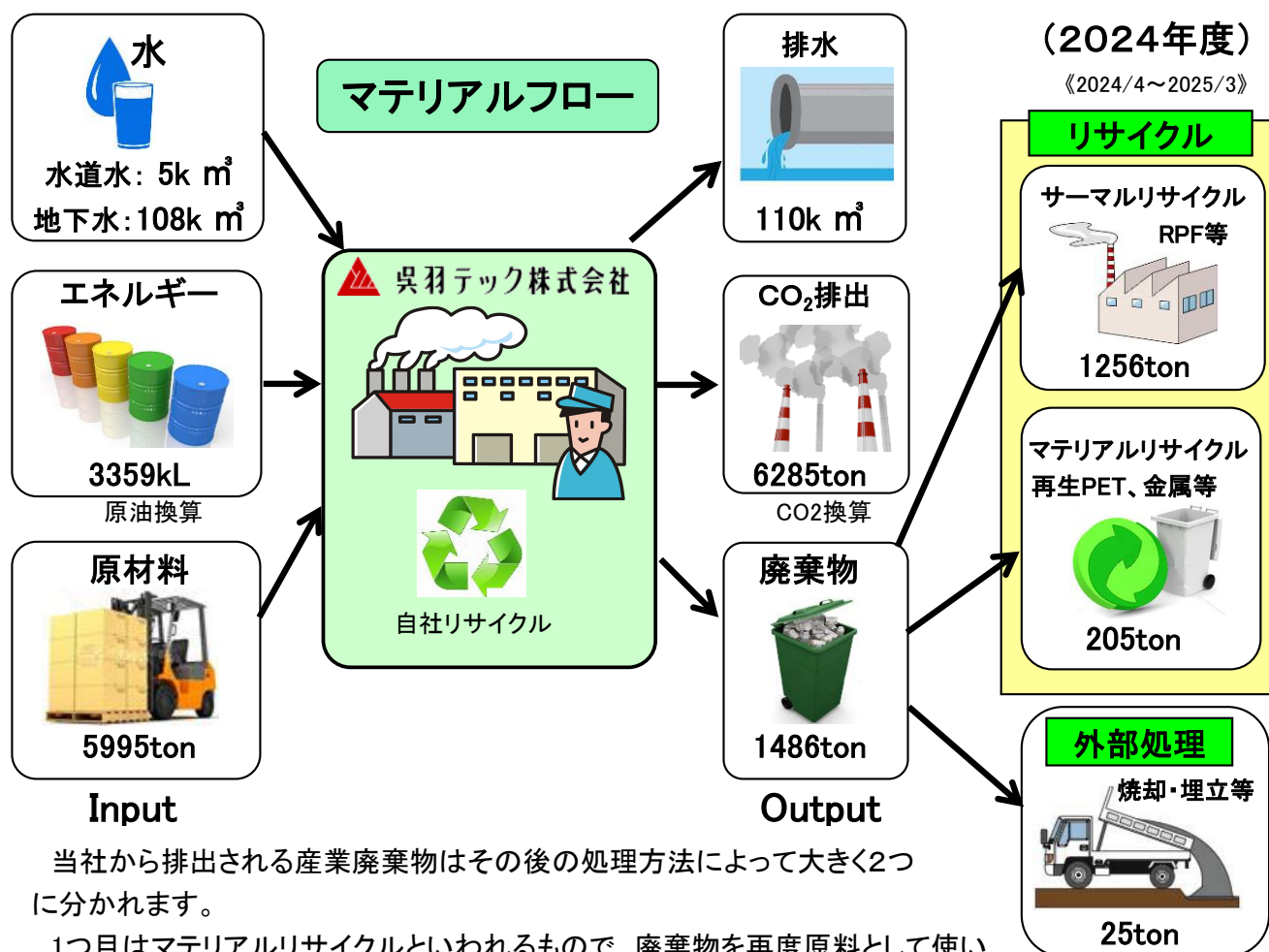
社業の発展に努めます

呉羽テックが果たす4つの責任



 **Kureha Ltd.**
信用のクレハ、品質のクレハ、創造のクレハ

呉羽テックの環境活動



当社から排出される産業廃棄物はその後の処理方法によって大きく2つに分かれます。

1つ目はマテリアルリサイクルといわれるもので、廃棄物を再度原料として使い、有効活用する方法です。良く知られた例として、回収されたペットボトルを粉砕して原料とし、もう1度ペットボトルとして成型されたり、繊維や樹脂製トレイとして生まれ変わったりすることがあります。

2つ目はサーマルリサイクルといわれるもので、廃棄物を単に焼却処理せず、焼却の際に発生する熱エネルギーを回収・利用することで、「エネルギー回収」ともいいます。具体的にはRPF (Refuse Paper & Plastic Fuelの略称)と呼ばれるマテリアルリサイクルが困難な廃プラスチック類等を主原料とした高品位の固形燃料として取り扱われ、石炭やコークスといった固形化石燃料の代替として使用されます。

残りのリサイクルできないものは、最終的には焼却・埋立等の処理を行っています。

環境影響削減の取り組み

当社では、中長期的な計画のもと環境負荷の低減を目指し、さまざまな取り組みを進めています。全社的目標としてエネルギー消費原単位の削減を掲げ、生産効率の向上や設備の改善を進めています。

2024年度、省エネ面では、変圧器を高効率タイプに更新しました。エネルギー源については、再生可能エネルギー由来の電力の購入を開始しています。物流面では、在庫削減や中間品の倉庫保管廃止に向けた取り組みを進めており、トラック輸送の回数削減につなげています。また、PET製品の製造過程で発生する端材を再資源化し、お客様へ原料として提供するなど、省エネルギーと資源循環の両面で取り組みを進めています。

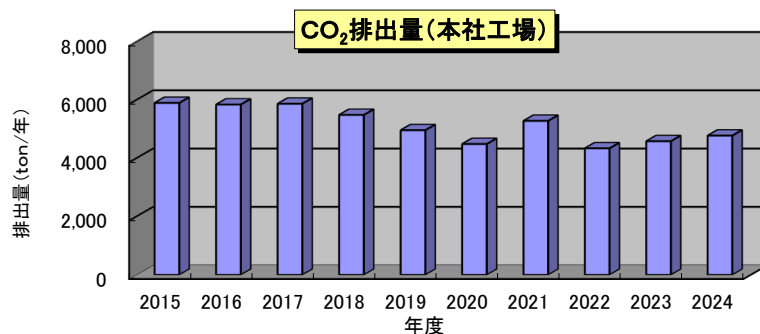
今後は、コージェネレーション設備や太陽光発電設備の導入を計画し、さらなる環境負荷の低減を目指します。これらの取り組みを通じて、SDGs(持続可能な開発目標)に貢献していきます。



① 温室効果ガス排出量

当社は、地球温暖化に大きな影響を及ぼすCO₂削減に取り組んでいます。

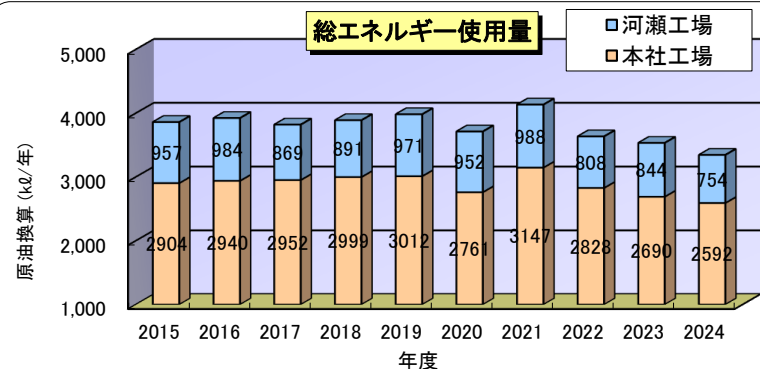
2024年度より購入電力の一部を再生可能エネルギー由来の電力に切り替えました。今後購入する電力を100%再エネ電力にする予定です。2025年度は、本社工場、河瀬工場共に計画的に分割して蛍光灯からLED照明に変換して行きます。



② 総エネルギー使用量

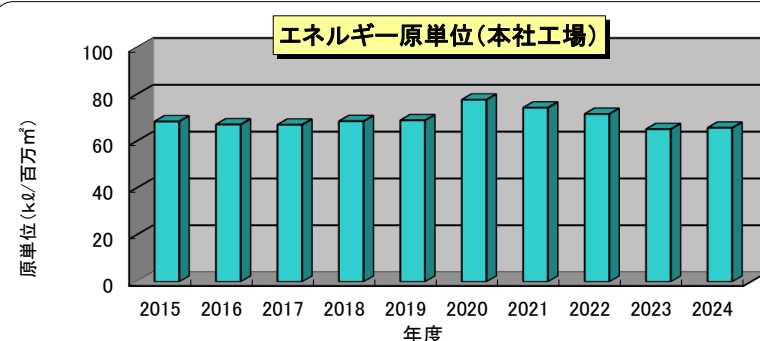
2工場ともに電力デマンドで日々の電気使用量を管理しています。

2024年度は、国内景気の停滞、自動車産業低迷の影響を受けて生産量は、減少しましたが無駄なエネルギー使用がないようそれぞれの現場で注力し、週初めの設備の油漏れ、蒸気漏れ、エア漏れ等の点検結果は、上司に報告し確認しています。



③ エネルギー原単位

全社的に原単位削減に取り組んでおり、対前年比1%削減目標を立て活動しています。現場では、適切なエネルギー使用や原材料歩留向上等に向けて、異常を察知すれば、「止める、呼ぶ、待つ」を心がけています。

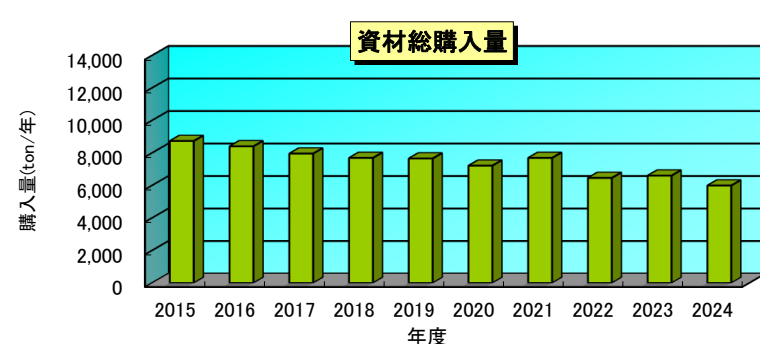


④ 資材総購入量

お客様の製品要求が変化している環境の中で生産対応を展開しています。

特に高目付(g/m²)製品よりも低目付製品の生産割合が高まっています。

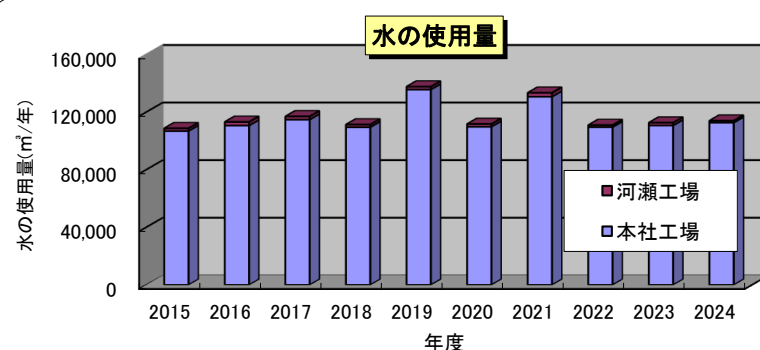
2024年度は、電気・ガス・原油の燃料費が高い水準状態であり、更に円安による原材料の高騰が利益を圧迫しています。



⑤ 水(水道水+井戸水)総使用量

近年の地球温暖化に伴う線状降水帯による命を脅かす豪雨現象の一方で地球のどこかでは水不足が発生しています。

水は大切な資源であり、継続して適正な使用に努めています。



⑥ PRTR関係 化学物質排出量

PRTR制度とは(Pollutant Release and Transfer Registerの略)

人の健康や生態系に有害なおそれのある化学物質について、事業所から環境(大気、水、土壌)への排出量及び廃棄物に含まれての事業所外への移動量を、事業者が自ら把握し国に対して届け出るとともに、国は届出データや推計に基づき、排出量・移動量を集計し、公表する制度です。

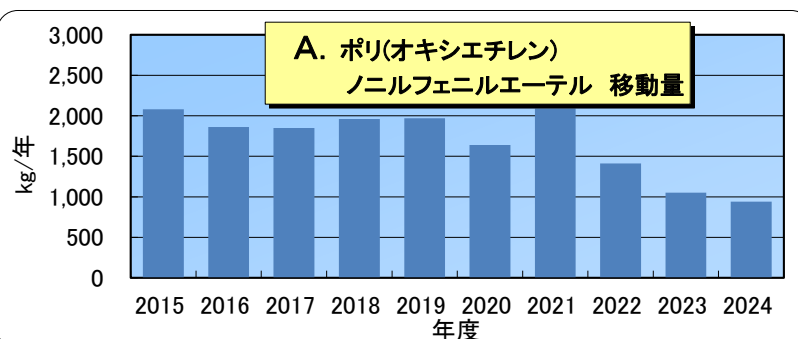
2001年4月から実施されており、2021年10月に特定第一種指定化学物質が23物質に、第一種指定化学物質が515物質に改正され、2023年度実績の届出から施行となりました。

当社から排出される化学物質の主なものは下記となり、環境負荷物質削減活動を継続実施中です。

A. NPE:「ポリ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル」

〔別称:NPE=ノニルフェノールエトキシレート〕

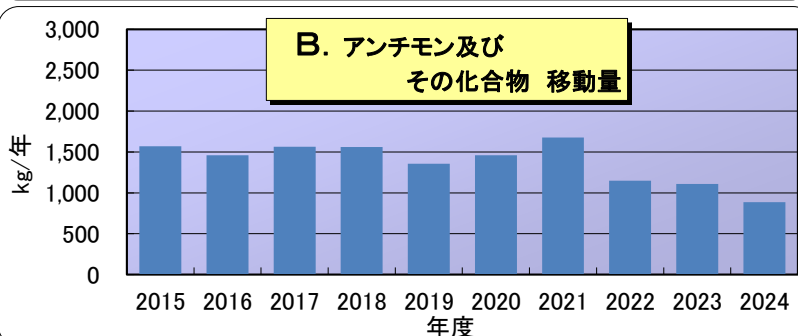
不織布の繊維と繊維を接着させる方法の一つに、水溶性アクリルエマルジョン樹脂の使用があります。このエマルジョン樹脂中の界面活性剤、乳化剤としてNPEが使用されているものがあります。



B. 「アンチモン及びその化合物」

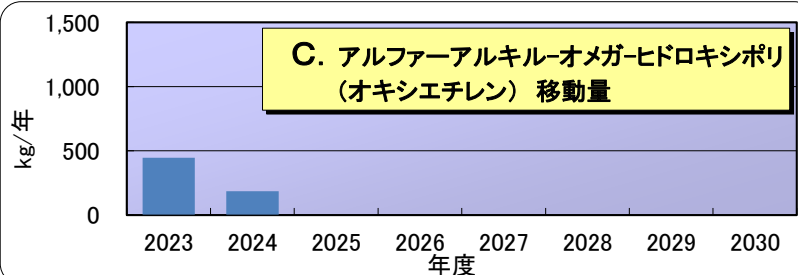
アンチモン化合物は主に不織布の難燃性を付与する目的として使用しております。

2006年頃難燃加工に対するお客様の要求が高まり、現在も受注量は近年減少傾向ではありますが継続しています。



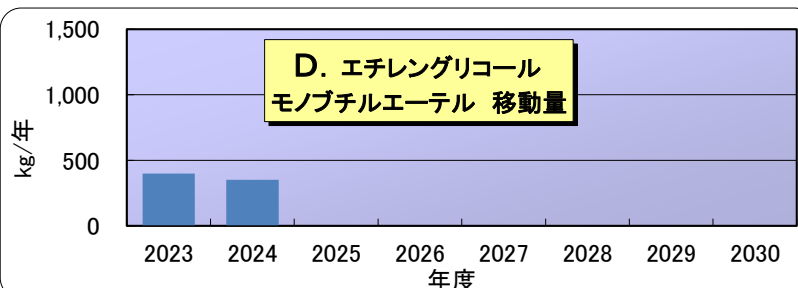
C. アルファーアルキル-オメガ-ヒドロキシポリ(オキシエチレン)

上記A. NPE同様に水溶性アクリルエマルジョン樹脂中に界面活性剤、乳化剤として使用されているものがあります。



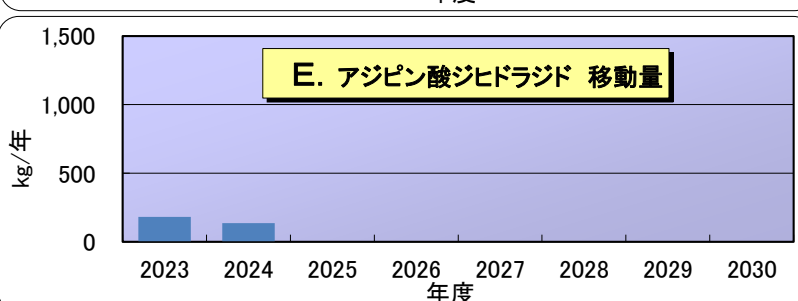
D. エチレングリコールモノブチルエーテル

不織布のPET繊維同士を接着させる方法として、水溶性ポリエステルエマルジョン樹脂を主に使用します。このエマルジョン樹脂中に界面活性剤、乳化剤として使用されているものがあります。



E. アジピン酸ジヒドラジド(ヘキサンジヒドラジド)

不織布の要求特性には、ホルムアルデヒドの含有量を抑えることの要望があり、そのキャッチャー材として使用することがあります。お客様の要求を満足するべく、開発技術部の主導で活動しております。





呉羽テック株式会社の商品紹介

暮らしを支える呉羽の不織布

呉羽テックが生み出す最先端技術・高品質の不織布製品は、暮らしの中のあらゆるシーンで活躍しています。

自動車機能材



自動車向けでは、エアーフィルター、キャビンフィルター、排気フィルターなど空気清浄機能製品として使用されています。



内装材として、天井、フロア、トランクなどの部位に使用されています。



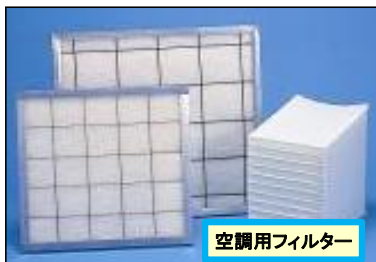
産業資材



ごみ焼却炉用フィルター、空調用フィルター、塗装ブース用フィルターなど産業資材として使用されています。



ごみ焼却用フィルター



空調用フィルター

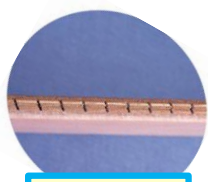


塗装ブース用フィルター

土木・建材



防音床材 土木用途、屋上緑化シートなどに使用されています。



防音床材



ブロックコンクリートマット(基材)



屋上緑化シート(基材)

生活環境



衣料資材、靴資材、掃除資材として身近なところで使用されています。



換気扇フィルター

医療・衛生



パップベース、冷却シート、傷テープなど医療・衛材分野で使用されています。



パップベース



冷却シート

接着用不織布



衣服用や産業資材向けの接着用途で「ダイナック®」が使用されています。



CSRの取り組み

- ・行動目標 安全・防災 ⇒ 安全で安心して働ける職場づくり
 健全・健康・堅実 ⇒ 作業安全、健康増進、コンプライアンス

CSR大会の開催（本社工場 7月1日、河瀬工場 7月8日）

呉羽テックでは2014年から安全大会を、2018年からはCSR大会と名を変え、毎年7月第1週に開催し、今年で11年目になります。

CSRは、直訳では「企業の社会的責任」ですが、安全だけではなく、環境や品質、衛生、コンプライアンスについても取り組む大会とすることで、責任ある企業として信頼される活動に従業員全員が参加する機会としています。

社長から従業員へのCSR(安全)講話、安全スローガンの唱和を行いました。



私たちは改めて基本に立ち戻り、安全・防災を含むCSRに取り組みます。

① 労働環境への取り組み

労働関連法令への遵守強化

労働関連法令遵守の取り組みとして、従業員の安全と健康を守るための体制を強化しています。具体的には、騒音障害防止を目的とした作業環境測定を開始しました。これにより、工場内の騒音レベルを正確に把握し、必要に応じて防音対策や保護具の提供を進めていきます。

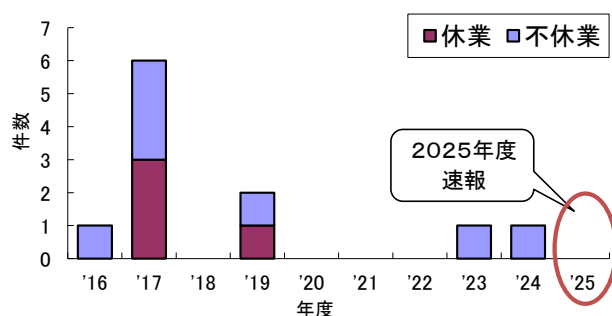
また、労働安全衛生法が定める有機溶剤や特定化学物質への対応も強化しています。関連法令を遵守するため、サプライヤーと連携し、より安全な材料への変更を順次進めています。今後も、法令遵守はもちろんのこと、従業員が安心して働ける環境づくりに継続的に取り組んでいきます。

② 安全への取り組み

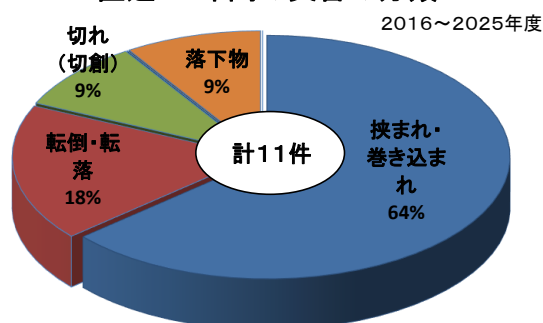
近年の当社のカウント(休業・不休業)災害の特徴は、機械災害の典型である、「挟まれ・巻き込まれ」と「転倒・転落」が全体の80%を占めており、他の製造業と似たような傾向です。

「挟まれ・巻き込まれ」災害の低減のため、安全総点検(リスクのランク付けで危険な場所や作業を抽出し、高リスクの低減対策を進める活動)に取組みましたが、2024年は未実施の職場(子会社)で挟まれの不休業災害が発生したため、発生職場での安全総点検を実施し、リスク低減対策を完了しました。

災害発生件数推移（軽微な災害を除く）



直近10年間の災害の分類



③ 防災への取り組み

(1)火災発生時の対応訓練をしています

● 消防訓練(通報、避難、放水)の実施

12月9日に本社工場で、12月16日に河瀬工場で消防訓練を実施しました。

非常ベルの鳴動に合わせて消防へ通報、避難場所へ避難した従業員を点呼するとともに、消火班は、消火栓からの放水訓練を実施し、手順を確認しています。



本社工場



河瀬工場

(2)第48回湖南広域消防訓練大会への出場

10月24日に第48回湖南広域自衛消防訓練大会が開催され、3操法で出場し、各操法で入賞することが出来ました。消火器操法では、3名が優秀賞を受賞しました。屋内消火栓は紙一重で優秀賞を逃しましたが、見事な訓練を披露されました。



(3)防災総点検の実施

防災総点検にも取り組んでいます。人命と新幹線の沿線延焼対策を最優先案件として、対策を実施しています。

2024年度実施した対策

- 本社工場テント倉庫の更新と、自火報新設
- 河瀬工場の警報システムの増設
(受信盤の更新、自火報追加、倉庫の感知器設置)



本社工場テント倉庫

今後実施検討している主な対策

- スプリンクラーの老朽化ヘッドの更新 (本社工場第1工場の残り区画)
- 本社工場内未警戒区域(倉庫)への感知器設置
- 本社工場第1・第2工場用消火ポンプの更新
- 緊急時(火災等)の工場内自動放送設備設置検討



④衛生への取り組み

従業員の健康管理に関しては、法定健診の他に交替勤務者対象の健診も100%受診となっています。

健診結果に対して医師の指導や再検査等の必要のある従業員へは、産業医（きづきクリニック院長木築医師）と連携して二次健診受診を勧奨しています。

この二次健診結果を産業医へフィードバックさせるシステムを確立して、従業員の健康促進に役立てています。

また、ストレスチェックを年1回実施しています。従業員個人個人が持つストレス度合の気付きを促し、メンタル不調者の発生を未然に防ぐことを目的としています。

⑤地域とのコミュニケーション

当社は総務部を窓口にして、呉羽テック環境マネジメントシステム（ISO14001）の“コミュニケーション”に基づき、特に地域とのつながりに重点を置いて活動しています。

本誌を通じ生産活動による環境負荷やコンプライアンスの推進状況の情報公開をして、近隣住民の皆さまや自治会をはじめ、各行政機関との信頼関係をはぐくむべく更なる充実を図っていきます。

法令順守は企業として当然の責任であり、法律・条例の制定や改正に関する情報を入手し、遅れることなく迅速に対応しています。

地域への貢献活動として、本社工場（栗東）に面する市道の植栽と歩道の除草・清掃活動を継続実施しています。2000年8月11日に実施した第1回を皮切りに2025年7月末日まで、実に243回 延べ4, 095人を数えるに至り、今後も最も身近なボランティア活動として継続していきます。

また、この取り組みは、栗東市が勧める道路の清掃や植栽の剪定を実施するボランティア制度「りっとう美知メセナ」に賛同し、2箇所サインボードを設置して、継続して地域の美化に貢献できるよう取り組んでいます。



【除草・清掃活動】

企業が果たすべき義務として捉えております“雇用”に関しては、その責任を果たすべく毎年継続して地元高等学校を中心に採用を続けております。

昨年度も求人倍率が高く、売り手市場の傾向にあったので、当社も苦戦を強いられましたが、3月24日には1名の新入社員が入社しました。

(2025年度採用実績:高卒1名)



【2025年度新入社員:3/24入社式当日
本社工場にて会社幹部と撮影】

同様に採用が難しい昨今ではありますが、当社では新卒採用の他にも、第二新卒、中途採用の応募を様々な部署で随時受け付けております。こういった方々の豊富な経験や知識を当社で存分に発揮していただきたいと期待しております。

また、障害者センターとの交流、ジョブコーチ等のご協力をいただきながら、障害者の雇用についても積極的に取り組んでおり、ダイバーシティへの取り組みに繋がたいと考えております。

その他、地域への貢献活動としまして以下にご紹介致します。

- ・ 全国交通安全運動期間中の本社工場(栗東)周辺に交通安全啓蒙のぼり旗を掲出
- ・ 国政及び県、市政選挙候補者ポスター掲示板設置協力
- ・ 県立高等学校からご依頼のインターンシップ生の受入れ
- ・ 栗東市自立支援協議会さまからご依頼の障害者雇用の工場見学会を実施
- ・ 飲酒運転ゼロ宣言運動への参加
- ・ 県教育委員会から特別支援学校応援企業の登録認定を受ける。

今後とも微力ではございますが、よき企業市民として地域社会に貢献していきます。



編集後記

今年も昨年に続き記録的な酷暑の夏となり、日本での最高気温を更新する41.8℃が観測され、北海道から九州に亘る広範囲に於いても記録更新となりました。

また、各所で線状降水帯が発生し、甚大な災害が発生しています。

職場内では熱中症予防のため、空調の適切な活用やこまめな水分・塩分補給、ファン付き作業着の導入など、暑熱対策を進めています。

第19号となる今回の「CSRレポート」では、安全・防災・環境・衛生といったCSR活動の取り組みとあわせて、弊社の商品紹介も掲載しております。弊社についてより深くご理解をいただく機会になれば幸いです。

レポート内容につきましては、至らないところも多々ありますが、今後は対象範囲や情報の充実を課題として取り組んでまいります。

これからも関係部署の協力を得ながら、CSRのより一層の浸透をめざして継続的な改善に努めてまいります。

本レポートをご覧になり、ご意見、ご感想などございましたら、品質管理保証課までお知らせいただければ幸いです。

問合せ先 : 呉羽テック株式会社 品質保証部 品質管理保証課
TEL 077-553-9415

発行責任者 : 品質保証部 課長 片岡

発行日 : 2025年 9月 1日 (通巻 第19号 発行)

ホームページアドレス : <http://www.kurehatech.co.jp/>